



令和8年(2026年)が始まりました

冬休みが終わり、3学期が始まって、早いもので2週間が過ぎました。学校は子どもたちの元気な声であふれ、賑やかな日常の姿に戻っています。

第3学期始業式では、私がお正月に箱根駅伝の沿道応援をしてきたことを例にして、ひたむきに頑張る姿は美しいことや、先生や友だちはきっと応援してくれるから、頑張ることから逃げないでほしいことを伝えました。子どもたちが、自分で決めた目標に向かって、大きく飛躍する1年になることを願っています。

本年も、本校の子どもたちの個性を大切にしながら、自分の可能性を存分に伸ばすことのできる学校教育の実現に向けて尽力していきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

校長 和田修二



あなたはどう思うの？あなたの意見は？

我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査(※)(令和5年度)によると、下のグラフのように、日本のこどもと若者は、国際的にみると、自分の考えをはっきり相手に伝えることが苦手としていることがわかります。(本校の児童アンケート結果でも同様の結果が出ています)

日本は、正解のある問題を短時間で解く力は、世界でトップクラスと言われています。しかしながら、正解のない問題に「あなたはどう思うの？あなたの意見は？」と問われると、自分の考えを伝えることができないようです。この世の中は「正解のある問題」よりも「正解のない問題」のほうがはるかに多いはずですから、「正解のない問題」に自分の意見を言う(自分なりの答えを出す)ことは、社会に出て必要なスキルになります。

ネットを使えば知識や情報は容易に入手できる時代です。

豊富な知識をもっていることの価値よりも、自分の考えを相手に伝えることができることの方が価値のある時代になってきています。そして、自分は人前で意見を言える人間であることを自覚し、自己肯定感の高い人に成長してほしいと思っています。

Q.自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	
日本(n=1089)	17.9	39.2	29.8	13.0	
アメリカ(n=1064)	33.8		37.7	19.9	8.6
ドイツ(n=1078)	30.4		43.6	20.8	5.2
フランス(n=1026)	30.9		41.4	20.8	6.9
スウェーデン(n=1026)	30.3		40.4	23.1	6.2

こども家庭庁HPより

(※)我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査とは…

こどもの幸せな状態(ウェルビーイング)に関する事項の国際調査で、調査対象国は、日本、アメリカ、ドイツ、フランス、スウェーデン(計5か国)です。また、調査対象者は、各国満13歳から満29歳までの男女です。



学校の出来事をピックアップして紹介します！



❖書初め

学校では一年のはじめに、気分を新たにして希望に胸を膨らませ、勉学の第一歩を踏み出す行事として、書初めを行っています。書初めは、1～2年生は硬筆（えんぴつ）、3年生以上は毛筆（習字）で行いました。子どもたちは、お手本を見ながら、字が上達するように願いを込めて、一字ずつ丁寧に書き上げていました。全校の子どもたちの力作は、校舎内の廊下に掲示し、書初め展を開催しました。

❖ 3年歴史博物館出張講座

社会科の「昔の道具とくらし」を学習するにあたり、神奈川県立歴史博物館の学芸員を本校へお招きして、「昔の台所と食べ物」について出張講座をしていただきました。博物館の展示室に再現された民家の台所の様子や、昔の食べ物の複製資料などを画像で紹介していただきました。子どもたちは、昔と今の台所の道具を見比べて同じ使い方をする道具を見つけたり、昔と今の食生活の違いを考えたりしていました。今は家事が楽になり、暮らしが便利になったことを実感することができました。



お知らせ

◆令和8年度からの「あゆみ」所見欄の記載について

令和8年度からは、これまでの第2学期に加え、第1学期においても学期末に個別教育相談による対面の機会を設け、「あゆみ」所見欄の記載をなくし、各教科の観点別評価のみといたします。なお、第3学期は、これまで通り所見欄への記載にてお伝えいたします。ご理解くださるようお願いいたします。

【「あゆみ」所見欄の記載をなくす理由】

お子さまの学習面や生活面等の具体的な様子は、1・2学期末に対面により個別教育相談を実施することで、所見欄の文章による記述よりも多くの情報をお伝えすることができるため。



2月の主な学校行事

詳しくは学年だよりをご確認ください
予定が変更になることがあります。



日	曜	行 事	日	曜	行 事
3	火	5～6年クラブ活動（最終）	18	水	1年授業参観（5校時）・懇談会
12	木	3年授業参観（5校時）・懇談会	19	木	2年授業参観（5校時）・懇談会
13	金	5年授業参観（5校時）・懇談会	20	金	4年授業参観（5校時）・懇談会
16	月	しいのみ級授業参観（5校時）・懇談会	25	水	小中連携授業参観
17	火	給食試食会 6年授業参観（5校時）・懇談会	↑ 今泉中の先生が今泉小の授業を参観します。		

■ 児童数（支援級含む：令和8年1月8日現在）

1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		合計		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
146	105	96	112	102	98	86	94	77	80	67	72	574	561	1,135

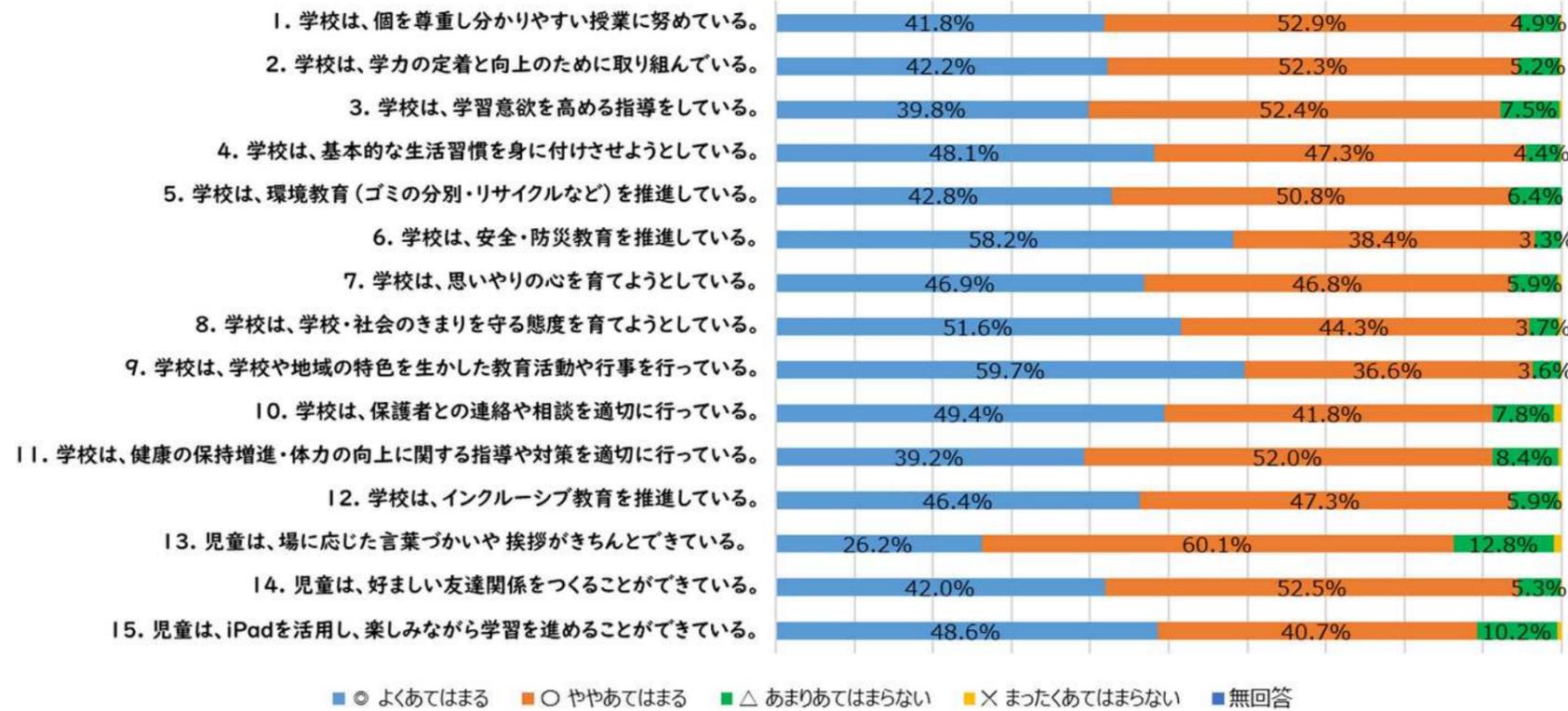


令和7年度 学校評価アンケート結果

実施期間：令和7年12月2日～12月22日

アンケートにご協力いただきありがとうございました。この結果を教職員で共有し、今後のよりよい学校教育活動の取組に向けて、次年度の計画に活かしていきたいと思っております。

【保護者】アンケート結果



◎「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が高かった設問(95%以上)

- ・97%…学校は、安全・防災教育を推進している
- ・96%…学校は、学校や地域の特色を生かした教育活動や行事を行っている
- ・96%…学校は、学校・社会のきまりを守る態度を育てようとしている
- ・96%…学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせようとしている

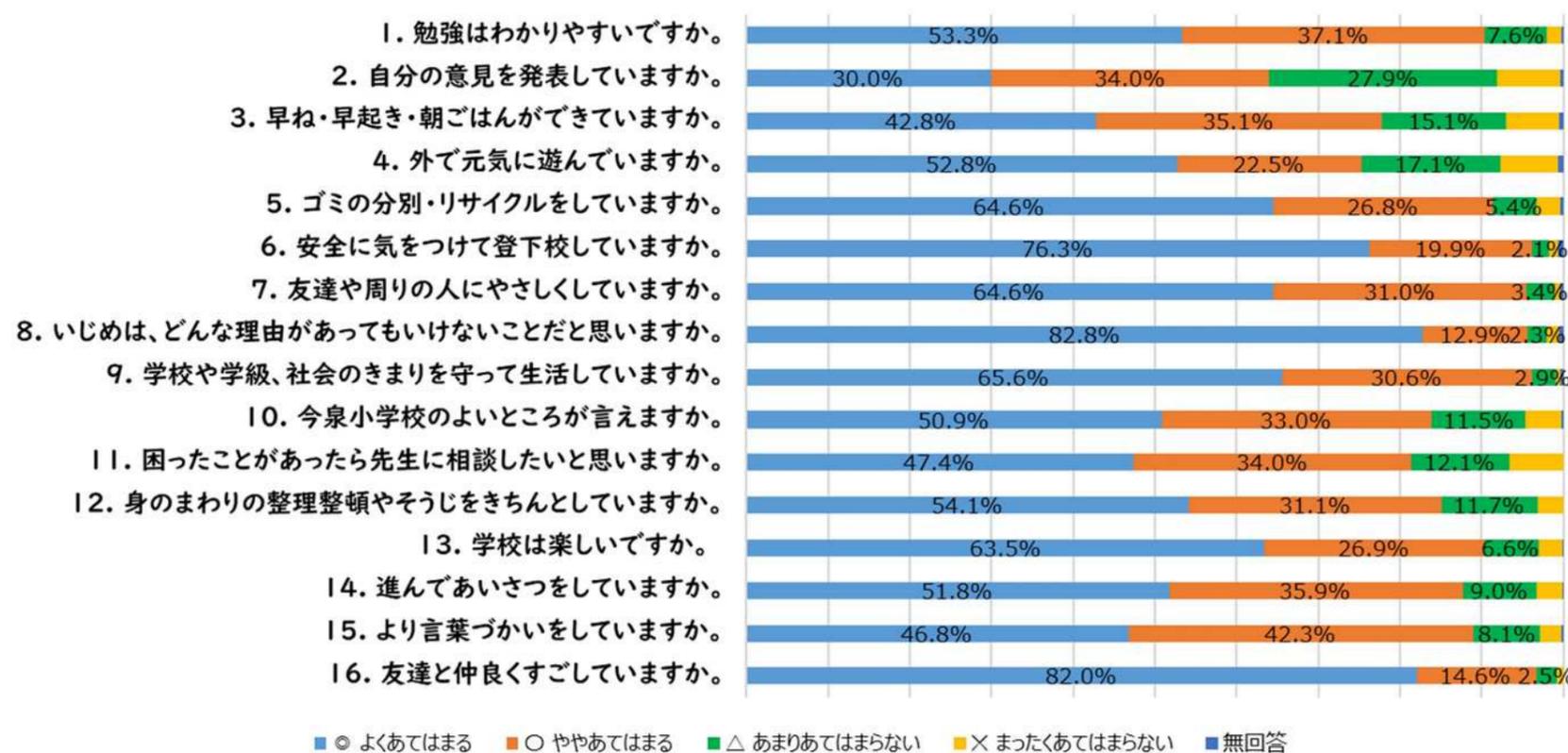
▲「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の割合が10%以上の設問

- ・児童は、場に応じた言葉づかいや挨拶がきちんとできている
- ・児童は、iPadを活用し、楽しみながら学習を進めることができている

【考察】

- 保護者アンケートの回答率が81%(前年は48%)あり、多くの保護者の意見が反映されているため、信憑性が高い結果と考えられる。
- 「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が85%を下回る設問がないことは、本校の学校教育活動全体についての成果と考えられる。
- △児童の言葉づかいや挨拶については教職員も同様に感じており、課題がある。今後も保護者・地域の方と協力して、習慣として身に付けられるよう取り組む必要がある。

【児童】アンケート結果



◎「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が高かった設問

- ・97%…友達と仲良くすごしている
- ・96%…安全に気をつけて登下校している
- ・96%…学校や学級、社会のきまりを守って生活している
- ・96%…いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
- ・96%…友達や周りの人にやさしくしている

▲「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の割合が20%以上の設問

- ・36%…自分の意見を発表している
- ・25%…外で元気に遊んでいる
- ・22%…早ね・早起き・朝ごはんができていますか。

【考察】

- 登下校の安全についての意識が高いことは、駅付近で交通量が多い本校の学区の実態を踏まえると、大きな強みと考えられる。
- 友達と仲良くすごしている児童の割合がかなり高いことが、学校生活の充実や楽しさにつながっていると考えられる。
- △いじめへの意識が高い児童の割合が多い結果が出ている一方、「ややあてはまる」以下の回答をしている児童が見られる。いじめは絶対にしてはいけないことを指導していく必要がある。
- △自分の意見を発表することに課題があり、さらに発表する場面をつくる学習活動等を取り入れるなど、指導の工夫が必要になる。